

きずな

北九州市立折尾西小学校

学校だより 11月号
令和元年11月1日(金)
校長 成重純一

「言葉で説明する力」が必要な社会

ラグビーワールドカップ決勝戦が明日行われます。ラグビーのナショナルチームは、他のスポーツと違って、異なる民族や人種の選手により構成されるチームが多いです。象徴的なのは、日本代表チームのキャプテンが、リーチマイケル選手であるということです。これは、独自の代表資格の規則によるものですが、現代社会は、グローバル化が進み、まさにラグビーのチームのように、異なる民族や人種が一つ



のチームを構成して、目標を共有し、問題の解決に当たることが当然のようになってきています。日本人には、言葉で言い尽くさずとも互いに察し合う文化があると言われていますが、察することに価値を置いてばかりでは、議論を通してお互いに理解を深めることはできず、これからの社会を生き抜くことはできません。多様性を前提として、説明を尽くし、納得解や最適解を見つける力が求められています。

本校では、「言葉で説明する力」の育成に力を入れています。国語の授業で「話し言葉で説明する力」や「書き言葉で説明する力」を育て、チャレンジタイム（5校時前の短時間学習）では、教師が準備した課題に合った言葉を集める活動（主に低・中学年）や課題を図で説明する活動（主に高学年）を行っています。説明できるということは、図に表せるほどに事柄と事柄の関係をつかんでいるということであり、反対に、図に表す活動を通して、説明に必要な事柄と事柄の関係が見えてくるという効果が考えられるためです。

ご家庭で、上手に説明ができれば褒めてあげてください。

本年度の学習発表会について

11月10日(日)の学習発表会保護者観覧日に向けて、子どもたちが練習に励んでいます。昨年度に引き続き、合唱や合奏以外にも様々な表現形態を取り入れています。一つの演目の中でも、合奏と音読のパートがある学年もあります。したがって、演目を「合唱」「合奏」「群読」のように一括りにした種別ができないため、プログラムには、演目のみを示すことにしています。



また、外壁改修工事の足場が組まれているため、たくさんの出入口が封鎖されており、体育用具を簡単に移動できません。そこで、体育用具を体育館から出さずに隅に寄せておくことにしています。当日は、怪我を防止するため、それらの体育用具に触らないようご注意ください。

頼りになる高学年

体育用具は、移動させませんでした。楽器は、音楽室から体育館に移動させなくてはなりません。そして、学習発表会後には、音楽室に戻ります。毎年、この仕事は、高学年の子どもたちがしています。先週6年生が体育館に運び入れました。片付けは、5年生です。頼りになる子どもたちです。